

導入製品 AmiVoice ScribeAssist (アミボイス スクライブアシスト)

2022年7月導入

デジタル化戦略の一環で導入 LGWAN環境でも柔軟に運用でき 年間1,230時間の業務効率化



※ 出典：合同会社ecarlate「音声認識市場動向2023」

導入のポイント

課題

毎週定例で行われる会議の議事録作成に課題があった

市役所のネットワークセキュリティ環境ではクラウドサービスが十分に活用できない

効果

AI音声認識により議事録作成の時間が短縮し、年間1,230時間の業務効率化

インターネット接続なしでも利用可能なため、LGWAN環境でも柔軟な運用が可能

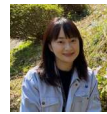
Customer Profile

山形県 鶴岡市役所 様

所在地：山形県鶴岡市

市長：皆川 治

職員数：1,900人(2023年4月1日時点)



ご担当者様
企画部情報企画課
富樫 富士子様

デジタル化戦略の一環として導入

鶴岡市役所では2021年度にデジタル化戦略を策定し、市民の利便性向上と庁内でのデジタル技術利活用による業務効率化の取り組みを進めています。

その中で、毎週定例で行われる会議の議事録作成に課題があり、実態調査の上、「AmiVoice ScribeAssist」の実証試験を行いました。その結果、十分な費用対効果が見込まれたため、2022年度から導入を決定しました。



インターネット接続不要のため LGWAN環境でも利用可能

市場には多くの議事録作成支援サービスがありますが、そのほとんどがクラウドサービスであり、市役所のネットワークセキュリティ環境では、多くの職員が効率的に活用することはできませんでした。その一方で、「AmiVoice ScribeAssist」はインターネット接続なしでも利用可能なため、LGWAN(総合行

政ネットワーク)環境でも柔軟な運用が可能であり、それが導入の決め手となりました。







年間1,230時間の業務効率化

年間400回ほど利用しており、導入初年度は年間1,230時間の業務効率化を見込んでいます。導入当初は期待した認識精度が得られないという声も多かったが、マイクやセッティングを改善することで、認識精度は大幅に改善しました。もう手作業での文字起こしには戻れないという声が多く、今後はさらなる効率化のため、ライセンスなどの管理方法も見直しながら全庁で更なる業務効率化を目指したいと考えています。

録音のコツ

マイクの運用方法によって、音声認識の精度が大きく向上します。

		会議 (大人数)	会議 (少人数)	面談	セミナー
IC レコーダー		×	△	○	○
グースネック マイク		○	—	—	○
ハンド マイク		◎	△	△	◎
バウンダリー マイク		○	○	○	—



導入実績



製品情報

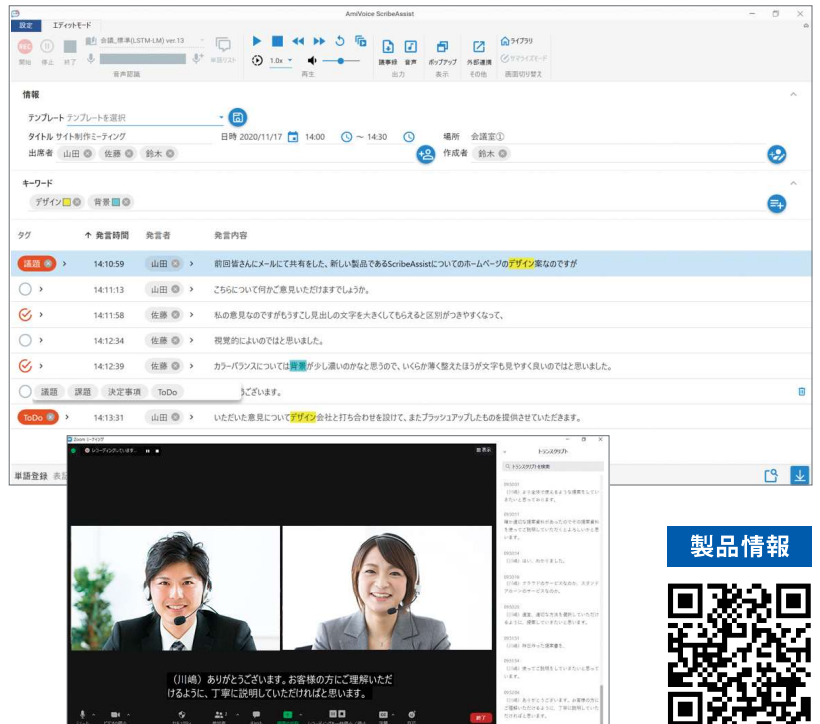
● AmiVoice ScribeAssist
(アミボイス スクライブアシスト)

音声録音からテキスト化、編集、要約までをワンストップで実現する、AI音声認識で議事録作成を自動化するアプリケーション。

スタンドアロン型アプリケーションなので、インターネット接続の有無にかかわらず、いつでもどこでもご利用いただけます。

リアルタイム認識、ファイル認識の両方に対応しており、Web会議のみならず、テレワーク、対面での会議や商談・打ち合わせ、経営会議、セミナー・講演会、研修、インタビュー、面談など、様々なシーンでの議事録作成業務の効率化を支援します。

ChatGPTと連携した自動要約機能も搭載し、議事録作成にかかる手間を大幅に削減します。



(販売代理店)

(開発・発売元)



株式会社アドバンスト・メディア
VoXT (ボクスト) 事業部

〒170-6042
東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 42F
URL : <http://www.advanced-media.co.jp/>
Mail : voxt-info@advanced-media.co.jp



※弊社は(財)日本情報処理開発協会により、個人情報適切に取り扱っている事業者であることを示す「プライバシーマーク」の付与認定を受けています。